

23年度 「計測会賞授与式」 挨拶

応用物理分野を^ご卒業された皆さん
計測会会長の寺倉で御座います

^ご卒業のお祝いを一言述べ、計測会賞を授与致します。

^ご卒業おめでとう御座います。

入学されてから今日まで、さまざまながあったと思いますが、この卒業の日を迎えられましたことに、あたためてお祝い申し上げます。

さて、皆様は今日から計測会の会員で御座います。

計測会はお手元の計測会の案内にもありますように、60年余りに設けられた計測工学科を母体とし、その後学科組織の変遷を経、今は応用物理分野を卒業生される皆様が新たな会員で御座います。

会員数は三千名程に登ります。

会員の方々は、さまざまな業界、分野で活躍され、実績を残されています。

もちろん、皆様が今後困難に遭遇された時などに、相談できる仲間でもあります。

今からは、計測会員であることを、是非是非心に留め置き下さい。

尚、計測会と皆様との相互連絡は、電子メールで行います。

お手元の案内の左下、皆様へのお願い欄にあるQRコードを開き、皆様のメールアドレスとお名前、卒年を入力下さい。

電子メールが唯一の連絡手段です。今日の内にも入力の際お願い申し上げます。

次に、ご卒業のはなむけに、二つの言葉を贈ります。

これから社会へ出られる方、進学される方、ともども大切にしてください。言葉です。

まず一つは、「答えは自ら見出す」です。

今までは、答えがあり、それにいかにしてたどり着くかという取り組みが多かったのではないのでしょうか。

これから遭遇される多くは、答えが決まっていません。皆さん自身が

答えを見出さねばならないのです。

自分ら考え、判断し、答えを決めていくのです。

そのためには、「できない理由でなく、どうしたらできるか」を「常識にとらわれず」、且つ「原理・原則に則(のつと)って」考え、行動してください。そうすればおのずと答がみえてくるでしょう。

答えは自ら見出す 大切にしてください。

もう一つは、「目標は高く掲げる」です。

目標は、ものづくりの目標、研究の目標、更には人生の目標など様々です。

いずれも、自分の目線より、1ランク、2ランク高い目標を掲げるという思いを大切にしてください。

ものづくりを例にとると、自分の思いをもので表現し、お客様の笑顔を実現する、やりがいのいっぱい詰まった世界です。だが、楽ではありません。同じ汗をかくなら、日本、いや世界No. 1を目指して欲しいと思います。

思えば、それがスタートラインを切ることです。

もちろん、達成できるとは限りません。そのチャレンジは、皆さん自身を成長させ、次の取り組みを成功させる原動力になります。

目標を高く掲げ、答えは自ら見出す。

ご卒業に当たっての、贈る言葉とします

それでは、計測会賞を授与します。

今年の計測会賞は、坂本悠斗さんです。

坂本さん、前にお願ひします。

坂本悠斗どの

あなたは名古屋工業大学物理工学科応用物理分野において優秀な成績を修められました

よってここに記念品を贈呈しこれを表彰します

令和六年三月二十六日

計測会会長

寺倉 修